

# V. 技術者養成

## 1. 技術人材養成事業

### 1-1 技術研修事業

〔目的〕 新製品の開発や生産技術の向上を図るため、企業の技術者や後継者を受け入れて研修する。

研修内容	研修期間	事業所名	担当者
石膏成型技術	令和2年4月2日～4月30日	陶磁器製造業	久田松 学
国内産ペタライトを使用した土鍋の製造技術	令和2年4月17日～10月31日	個人	小林 孝幸
走査型電子顕微鏡および走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型X線分析装置の操作研修	令和2年4月20日	素材関連製造業	高松 宏行
フォトショップ修得の為	令和2年5月15日～6月10日	陶磁器卸売業	桐山 有司
3D CAD 操作研修	令和2年5月19日～11月13日	陶磁器製造業	依田 慎二
フォトショップ修得の為	令和2年5月27日～6月11日	陶磁器卸売業	桐山 有司
釉薬研修	令和2年6月24日～6月25日	窯業・原材料	秋月 俊彦
蛍光X線分析装置 粉末X線回折装置 レーザー回折式粒度分布測定装置	令和2年6月26日	半導体製造業	木須 一正 稲尾 恭敬
釉原料の性質と調合式 釉調合の実際	令和2年7月1日～令和3年3月31日	個人	吉田 英樹
イラストレーター・フォトショップの操作	令和2年7月8日～9月30日	陶磁器卸売業	桐山 有司 友池 知郁
機能性粉末の製造方法	令和2年7月13日	鉱物・土石粉等処理業	狩野 伸自
X線分析顕微鏡の操作研修	令和2年7月14日	食品加工業	山口 典男
加飾印刷技術の習得	令和2年8月18日～11月17日	陶磁器製造業	友池 知郁 石原 靖世
X線分析顕微鏡	令和2年9月9日	工業系製造業	山口 典男
蛍光X線分析装置	令和2年9月10日	電気部品製造業	木須 一正
釉薬の調合技術	令和2年10月7日～令和3年1月7日	個人	吉田 英樹
インクスケープの習得	令和2年10月21日～令和3年3月31日	食品サンプル業	石原 靖世
陶磁器製造技術（石膏型、成形、焼成）、3D造形技術	令和2年10月20日～令和3年3月31日	陶磁器卸売業	久田松 学 山口 英次 小林 孝幸 依田 慎二
走査型電子顕微鏡、蛍光X線分析装置	令和2年11月20日	高等学校	高松 宏行 木須 一正
インクスケープの習得	令和2年12月2日～令和3年2月24日	陶磁器製造業	石原 靖世
インクスケープの習得	令和2年12月2日～令和3年3月31日	陶磁器製造業	石原 靖世
走査型電子顕微鏡	令和3年2月26日	素材関連製造業	高松 宏行

## 1-2 セミナー事業

〔目的〕 技術情報、デザイン情報の迅速な提供及び技術革新に対応できる意識改革を図るためセミナー等を実施する。

### (1)

テーマ	デザイン導入経営支援セミナー		
期 日	令和2年11月26日、12月3日、12月10日		
タイトル	「ものづくりのつくりかた」		
概 要	<p>「多様化する市場とものづくり。ライフスタイル市場をメインに置きながら『デザイン』への意識とものづくりのステップについて考える」セミナーを3回シリーズで開催した。『デザイン』には、色や形等の見た目を整える「design」と、ビジネス・生活・社会等の仕組みから整える「DESIGN」の2つの捉え方があり、今後必要とされるものづくりは、まず「DESIGN」を整え「design」を整えるというステップで、ビジネスや社会をみんなの力で整えていく必要があることを事例の紹介を交えながら講演。今回、初めてオンラインセミナーを開催し、グループワークでのディスカッション、講師と参加者との直接の意見交換等、参加者が今後の自社の経営について改めて見直す時間が取れ、同時にオンラインセミナーの可能性を感じる事ができた。</p>		
講 師	永田 宙郷 氏 (TIMELESS 代表/ててて協働組合共同代表)		
受講者	37名	担当者	戦略・デザイン科 友池 知郁、石原 靖世、桐山 有司

### (2)

テーマ	産業標準化セミナー「食洗機可!?-食洗機洗浄耐久性の評価方法と基準策定のプロセス-」		
期 日	令和3年3月25日		
概 要	<p>JIS S2403「ボーンチャイナ製食器の洗浄に対する化学的耐久性試験方法」が制定された。その原案作成委員会の委員長を講師にお招きし、試験方法の詳細や、基準作りのボーンチャイナの例、JISでこれから何をしようとしているか、何が起きるかなどについて分かり易くご紹介いただいた。</p>		
講 師	杉山 豊彦 氏 (元 JIS S2403 原案作成委員会委員長)		
受講者	3名 (オンライン)	担当者	環境・機能材料科 秋月 俊彦、木須 一正

### (3)

テーマ	機器・分析セミナー「X線回折装置(XRD)」-品質管理での利用について-		
期 日	令和3年3月16日、17日		
概 要	<p>材料等を構成する物質(鉱物)を評価するX線回折装置について、定性・定量手法(リートベルト解析)ならびに微小部領域、薄膜の測定技術について、原理等の説明を交えながら実機を用いて実習を行った。</p>		
講 師	上村 祐一郎 氏 (スペクトリス株式会社 マルバーン・パナリティカル事業部)		
受講者	4名	担当者	環境・機能材料科 山口 典男、高松 宏行

### 1-3 教育訓練

〔目的〕 人材の育成と技術力向上を図ることを目的に陶磁器製造技術、品質管理、デザイン、SNS の活用方法等をテーマとして、休業中の従業員に対して経済産業省雇用調整助成金制度に基づく教育訓練を実施する。

	企業数	回数	のべ人数
5月	8	30	292
6月	9	45	445
7月	9	38	333
8月	8	28	211
9月	8	29	191
10月	7	25	149
11月	3	14	31
12月	3	7	61
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	1	6	14
合計	12	222	1,727

※企業数のみこれまでに契約した企業数、他は合計

## 2. 学校等からの研修受入

### 2-1 所内研修

実習生	長崎県高等学校理科教育研究会「地学部会」 高等学校・特別支援学校理科関係教員
期日	令和2年11月20日
実習内容	蛍光X線分析・電子顕微鏡観察
担当者	研究企画課 狩野 伸自、環境・機能材料科 木須 一正、高松 宏行

### 2-2 出張研修

実習生	波佐見町立中央小学校 4年生
期日	令和2年7月21日、12月16日
実習内容	作陶支援（粘土の成形・素焼きの釉薬がけ）
担当者	陶磁器科 山口 英次、戦略・デザイン科 石原 靖世